

# 電気と管理

一般社団法人 東北電気管理技術者協会

## — 漏電ブレーカーが切れた時は —

状況を確認して、電気管理技術者に連絡してください。  
停電復旧の手順を説明します。

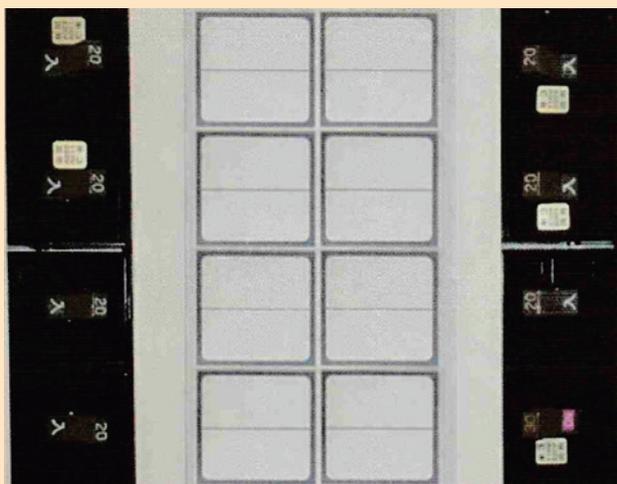
### ① 漏電ブレーカー

漏電ブレーカーは、万一漏電が起きた時に、電気を切って感電や火災を防ぐ安全装置です。



### ② 配線用ブレーカー

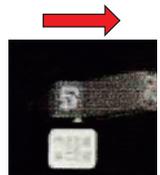
配線用ブレーカーは、個別の回路に分けて電気を送っています。



### 復旧の手順

(1)

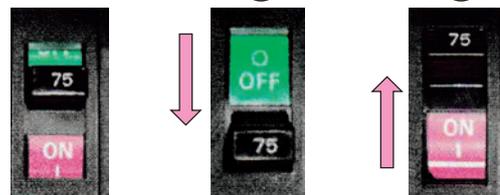
②の配線用ブレーカーを全部OFF(切)にします。



(2)

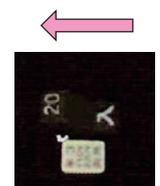
①の漏電ブレーカーのレバーを下までさげます。その後、上まであげてON(入)にします。

トリップ状態 → a → b



(3)

②の配線用ブレーカーをひとつずつON(入)にします。



再び漏電ブレーカーが切れたら、その回路が漏電してますので、漏電ブレーカーが切れた配線用ブレーカーをOFF(切)にしてください。

(4)

(2)~(3)の手順を再び行ってください。

\*悪い回路がコンセント回路の場合は、使用できないコンセントに差してある機器に異常がある場合もあります。

# 漏電ブレーカー(遮断器)について

我々電気管理技術者が一番注意して見ているのは、絶縁不良が有るか無いかです。月次の点検では受変電のトランスに戻る漏洩電流の大きさから、不良かどうか判断しています。ただ点検時以外に起こる不良も多く、絶縁監視装置などで特別に監視をおこなう場合もあります。

万が一漏電が発生した場合は、分電盤に取り付けられた漏電遮断器が作動し、感電や電気火災から人や財産を守るようになっています。

ゆえに漏電遮断器は大事な役割を担っていることになります。

漏電遮断器の動作した事例を掲載しますので、関連付けて各事業場における機器の設置状況をご確認ください。

## 水回り

水に常に浸っている装置は経年で水が浸入し、漏電しやすくなります。

- 雪や氷を溶かすための排水路ヒーター
- 揚水用、浄化槽用水中ポンプ
- ロードヒーターの劣化

雨水の侵入しやすいところ

- 長年使用している水道凍結防止ヒーター
- 屋外灯看板、屋外分電盤や電気の接続BOX、屋外コンセントなど
- エアコン屋外機の電気接続部への雨水侵入による漏電

その他

- 使用しなくなったケーブルの絶縁処理不良による漏電
- 雨漏れによる照明器具への浸水
- 機器の劣化による絶縁不良 パネルヒーター等

**ピリピリ感じるような機器は完全に漏電しています。すぐに対処致しましょう。**



## 漏電遮断器が動作して復旧する場合

大きな漏電遮断器は女性では入れられない場合があります。漏電で動作した場合は遮断器のハンドルがONとOFFの間に位置します。

ハンドルを十分に押下げてから押上げることで復旧します。何度やっても入らない場合は漏電が継続中である場合があります。

稀ですが漏電遮断の故障で入らない場合もあります。電気管理技術者が電気工事業者にご相談ください。

## 過電流と漏電によるトリップ

分電盤で分岐されている遮断器がトリップした場合、多くは電気の使い過ぎが原因です。

漏電遮断器が動作した場合は、漏電の可能性が大きいです。(過電流保護付きの遮断器は過電流でトリップする場合があります。)